

2025年1月14日

各位

会社名 川上塗料株式会社  
代表者名 代表取締役社長 西村 聡一  
(コード：4616 東証スタンダード・名証メイン)  
問合せ先 取締役経理本部長 松下田佳子  
(TEL：06-6421-6325)

## 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年11月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画を決議しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画の概要

##### (1) 対象期間

2025年11月期から2027年11月期までの3ヵ年

##### (2) 基本方針

###### 【経営理念】

当社グループは、「人と技術で豊かな未来を創造しよう」「地球にやさしさを暮らしに彩りをお客様に満足を」を経営の基本理念として掲げ、「技術力を高め、環境に優しく信頼性の高い製品を提供すること」を基本方針としております。

###### 【中期経営計画の基本方針】

経営理念と基本方針に基づき、当社の求めるあり姿は、優れた技術を発揮し顧客の要望に応え、環境に優しく人々と社会に価値をもたらす製品とサービスを創造する塗料メーカーです。

このあり姿を実現するために、計画期間3年間で「投資を強化し体質を改善する期間」ととらえ、いかなる環境においても持続的成長を成し得る企業体質を構築することを本中期経営計画の基本方針とし、前中期経営計画で未達成の施策も含め新たなアプローチにより以下に掲げる重点施策を関連設備投資とともに着実に実行することにより高収益体質の確立を目指します。これをもって確実に利益を積み上げ、自己資本を充実し財務基盤の強化をはかる所存です。

### (3) 事業戦略と重点施策

- コア顧客との協業深化による製品の開発と顧客基盤の拡大
  - ・ 既存顧客との協業深化による更なる付加価値の創出
  - ・ 当社の持つ技術力を発揮し新規顧客の開拓による顧客基盤の拡大
- ビジネスモデルの聖域なき見直しによる収益基盤の強化
  - ・ 販売パートナーとの戦略的協業によるマーケティング強化と販売戦略の最適化
  - ・ 当社が強みを持つ工業用塗料領域へのリソースの重点配分
- 生産性向上と生産能力増強
  - ・ 生産管理方式の見直しによる生産性の抜本的向上
  - ・ 既存設備の合理化・最適化
  - ・ 新技術を採用した生産設備の導入
  - ・ 生産能力増強のためのライン増設・レイアウト最適化の検討
- 技術力強化

サステナビリティを意識し、顧客及び社会のニーズに応える以下を中心とする環境配慮型塗料および高機能・高付加価値製品の開発強化

  - ・ エネルギーコスト・温室効果ガス排出削減のための塗料焼付温度の低減
  - ・ 特定化学物質障害予防規則(特化則)物質低減製品の開発
- 投資強化

これらの重点施策実行のため、年間5億円規模の設備投資を実行致します。

## 2. 数値目標 (連結)

(単位：百万円)

	2025年11月期 (計画)	2026年11月期 (計画)	2027年11月期 (計画)
売上高	6,360	6,630	6,830
経常利益	260	285	315
親会社株主に帰属 する当期純利益	205	220	245
純資産	3,382	3,545	3,737
経常利益率	4.1%	4.3%	4.6%
自己資本比率	38.3%	39.6%	41.2%

### 3. 株主還元方針

当社は、業績推移、設備投資や研究開発など将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保の充実を考慮し、業績に応じた利益配分をすることを基本方針としております。

本計画期間中に配当性向を段階的に引上げ、自己資本比率が40%以上になった場合、配当性向を30%とすることを目指します。

### 4. 前中期経営計画の振り返り

2022年11月期から2024年11月期までの中期経営計画では、基本理念に立ち返り、計画期間3年間で「事業環境の変化に対応しうる基礎固めの期間」と位置付け、基盤整備を進めてまいりました。計画期間2年目までは、利益率に課題があるものの概ね計画通りに推移致しました。しかしながら、最終年度では、想定以上に長引く原材料の高騰及び物流費や人件費など経費の増加を、生産性の向上や販売価格への転嫁などで補いきれなかったことに加え、機械・金属関連といった当社の主要な取引先での生産減による需要減少などで売上高が減少したことから、利益が大きく減少し、2024年1月12日に公表しました修正計画に対しても売上高・利益とも計画未達となりました。また、設備投資につきましては、重点施策推進のための年間3億円程度の設備投資計画に対し、主に千葉工場の粉体塗料工場建屋及び生産設備などに下記表の金額の設備投資を行いました。半導体不足による納期の長期化などから計画に対する遅れが生じました。未達成の課題については、新中期経営計画において重点課題として対応致します。

(単位：百万円)

	2022年11月期		2023年11月期		2024年11月期		
	計画	実績	計画	実績	計画	修正計画	実績
売上高	5,700	5,632	6,100	6,142	6,500	6,590	5,913
経常利益	230	213	300	238	400	256	142
親会社株主に帰属する当期純利益	180	162	220	203	300	220	170
純資産	2,550	2,718	2,750	3,055	3,000	3,250	3,217
経常利益率	4.0%	3.8%	4.9%	3.9%	6.1%	3.9%	2.4%
自己資本比率	35.0%	34.0%	36.0%	36.6%	38.0%	38.0%	38.0%
設備投資※	—	94	—	256	—	—	303
配当性向	—	15.3%	—	14.7%	—	—	17.5%

※設備投資の金額には、無形固定資産への投資額も含んでおります。

以上